

式 辞（令和８年度短期課程機械科（後期）入学生への校長メッセージ）

この夏の猛暑も一段落し、キャンパスでは、朝夕の秋風が気持ちの良い季節になりました。

本日の佳き日に、日頃から格段のご高配をいただいております、伊那公共職業安定所・所長 上原 孝一様、ならびに受託入学生を派遣いただきます、事業主の皆様のご臨席を賜り、長野県南信工科短期大学校の令和八年度後期・短期課程機械科の入学式を挙行できますことに、深い感謝と御礼を申し上げます。

ただ今、短期課程機械科６名の入学を許可いたしました。ご入学の皆様、誠におめでとうございます。

心よりお祝い申し上げますとともに、南信工科短期大学校の教職員を代表して、大いに歓迎いたします。

皆様は、本校が開校してからの短期課程 ２２期生になります。

皆様は、在職しながら、さらなるスキルアップを求めて入学された方です。これからの６か月間、本校の「機械科」で一緒に学ぶことになりました。

本校での教育は、機械工学の基礎知識の習得だけではありません。各種の工作機械の操作方法、材料ごとの加工方法、図面の読み方、ＣＡＤ／ＣＡＭプログラム、ＮＣプログラムなどを学びます。これらの実習主体の実践的カリキュラムのもとに、知識と技術・技能を身につけます。

半年間というごく限られた短い期間内での学びであり、困難なことも多かろうかと思いますが、どうぞ積極的に取り組んでください。

長野県、特に南信地域の産業は、精密機械工業、エレクトロニクス工業や食品工業など、ものづくりを中心にたいへん盛んです。

各企業はグローバル化や多様化に対応できる新たなデジタル技術にチャレンジしながら、地域の産業を牽引し、現在にいたっています。

しかしながら、世界各地での紛争の激化、また、人口減少の進行や物価高騰の影響が続く中、社会や経済を取り巻く環境は依然として、不透明な状況が続いています。

このような将来が見通せない時代であればこそ、個人個人が身に付けた高い技術力が重要になります。

本日入学の皆様には、この貴重な半年間、同期の学生と一緒に多くのことを体験・吸収し、知識と技術・技能を身につけてください。

皆様が健やかで、前向きに、厳しくも楽しい充実した学校生活を過ごされることを切に願い、式辞といたします。

令和８年（２０２６年）１０月１３日

長野県南信工科短期大学校長 武田 三男